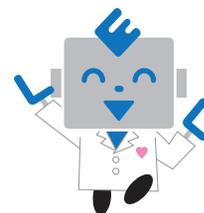




AMEDブースの  
出展詳細はコチラ

ぜひ、お立ち寄りください!



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

# 医療の今、未来に向けて、 つなぐ、ひろげる

～AMEDは基礎研究から実用化までを一貫して支援しています～



BioJapan

2023年10月11日(水)～13日(金)  
10:00～17:00

会場 パシフィコ横浜

AMEDブース  
C-15

## AMEDブース、AMED関連ブースのご案内

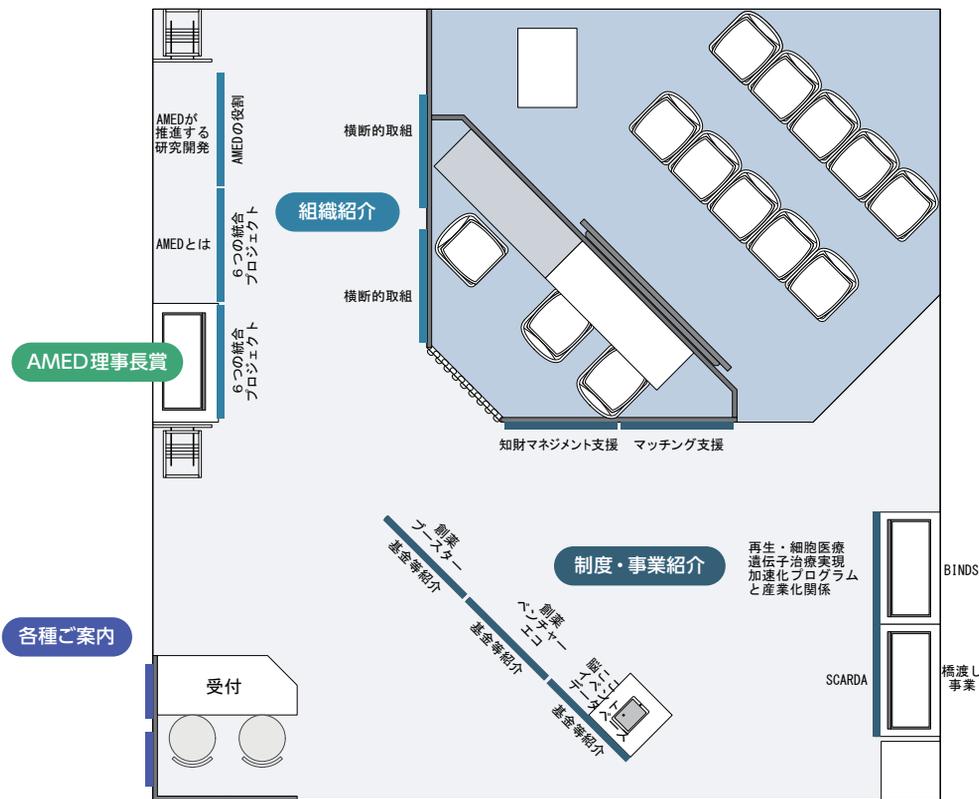
「BioJapan 2023」のAMEDブースは、AMEDの組織紹介をはじめ、医療研究開発の実用化支援事業や、創薬ベンチャーエコシステム強化事業、再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト、革新脳・国際脳等、AMEDが推進する医療研究開発に関するさまざまな事業や制度をご紹介します。

また、AMEDブース内プレゼンテーションコーナーでは、基礎から臨床までの研究開発段階に応じた研究費プログラムと橋渡し研究支援機関のサポートに関するご紹介や、創薬ベンチャーエコシステム強化事業の公募説明、医療機器開発に関する若手研究者によるピッチなども予定しています。

そのほか「JHVS(ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット)」や「healthTECH JAPAN」など、会場各所にAMED事業が関連するブースやピッチイベントがありますので、ぜひお立ち寄りください!

## ①AMEDブース〈小間番号：C-15〉

- 展示：組織紹介、制度・事業紹介（創薬ブースター／創薬ベンチャーエコシステム事業／橋渡し事業／AMEDの知財・実用化支援／BINDS／SCARDA／再生・細胞医療・遺伝子治療プロジェクト／革新脳・国際脳等）、AMED理事長賞受賞者紹介等



- ピッチ・プレゼンテーション：AMEDブース内にて実施（詳細プログラムは3ページ目をご覧ください。）
- ・「橋渡し研究プログラム（研究費事業）のご紹介」

☆「Japan Medtech Acceleratorsピッチイベント」  
（若手研究者によるスタートアップ課題解決支援事業）

☆「若手研究者による革新的医療機器開発ピッチイベント」  
（官民による若手発掘支援事業）

※ ☆のパネルは③「healthTECH JAPAN」東京大学バイオデザインブースで展示します。

- ・「創薬ベンチャーエコシステム強化事業の公募について」

- 出展者プレゼンテーション：10/13(金) 13:15～13:45 BioJapanメインステージ  
「AMED創薬ベンチャーエコシステム強化事業のご紹介」

- マッチング：（実施場所）パートナーリングエリア

ぜひ、アンケートにご協力ください！



## ①AMEDブース〈小間番号：C-15〉

### ●ピッチ・プレゼンテーションプログラム

日にち	時間	題名	施設名/事業部課室名	役職	発表者名	
10/11(水)	11:00~11:45	橋渡し研究プログラム(研究費事業)のご紹介	AMEDシーズ開発・研究基盤事業部 拠点研究事業課	主幹	塩塚政孝	
	13:00~13:05	AMEDが実施する若手研究者への支援事業説明	AMED医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課	課長	友安弓子	
	13:05~14:00	若手研究者によるスタートアップ課題解決支援事業「Japan Medtech Accelerators ピッチイベント」				
		スマートフォン上で動作する聴覚検査機器の開発事業化	倉敷中央医療機構	研究員	藤原崇志	
		糖尿病網膜症や緑内障など失明につながる眼疾病を迅速かつ簡便に診断する汎用遠隔型眼底診断AI (SaMD) のスタートアップ	広島大学	助教	水野優	
		がんの低侵襲治療における治療効果向上と合併症低減を目指した生体親和性ポリマーに関する研究開発	国立がん研究センター	研究員	吉田泰之	
		パーキンソン病患者のすくみ足症状を改善する実時間サイバーフィジカルシステム型ウェアラブル装置の開発	浜松医科大学	教授	長島優	
	14:00~15:00	官民による若手発掘支援事業「若手研究者による革新的医療機器開発 ピッチイベント」				
	14:00~15:00	半月板切除後に膝関節のクッションとして用いるフロートリングの開発	宮崎大学	准教授	山子剛	
		卵巣発育を誘導する新規腹腔鏡下デバイスに関する研究開発	順天堂大学	助教	佐藤可野	
逆問題的発想にもとづく新規コイル設計理論を応用した経頭蓋磁気刺激用コイルの研究開発		東京大学	教授	関野正樹		
ウェアラブル端末を用いた生体情報のモニタリングにより陣痛発来タイミングを予測するAIプログラム医療機器の研究開発		国立成育医療研究センター	研究員	谷口公介		
10/12(木)	10:30~10:50	創薬ベンチャーエコシステム強化事業の公募について	AMED実用化推進部 研究成果展開推進課	課長	伊藤哲也	
	11:00~12:00	若手研究者によるスタートアップ課題解決支援事業「Japan Medtech Accelerators ピッチイベント」				
		バーチャルリアリティを用いた小児弱視訓練プログラム医療機器の開発	順天堂大学	准教授	猪俣武範	
		がん切除後再建手術のための皮弁血流動態画像解析システムの開発	がん研究会	副医長	辛川領	
		CT像から筋骨格情報を計測するAIシステムの研究開発	大阪大学	助教	上村圭亮	
		インプラント感染に対する電気殺菌を用いた低侵襲治療法の開発	東京大学	特任助教	柿花隆昭	
	人工呼吸器患者を救う革新的神経刺激装置の開発	大阪大学	医員	玉川友樹		
	13:00~14:30	官民による若手発掘支援事業「若手研究者による革新的医療機器開発 ピッチイベント」				
	13:00~14:30	1分子定量法に基づいたデジタルリキッドバイオアッセイ装置の開発	国立研究開発法人理化学研究所	主任研究員	渡邊力也	
		非発作性心房細動のアブレーション治療のための膜電位映像化技術の開発	東京大学	助教	富井直輝	
皮脂中RNAの発現パターン解析によるアトピー性皮膚炎診断のための医療機器の研究開発		国立研究開発法人国立成育医療研究センター	医長	山本貴和子		
尿道内圧変化を用いた術中骨盤神経モニタリングシステムの開発		宮崎大学	助教	甲斐健吾		
表在性転移リンパ節に対するコンパクト磁気加熱プローブを用いた磁気加熱がん治療法の創製		東北大学	准教授	桑波田晃弘		
近赤外ハイパースペクトラライメーキングによる腸管神経叢の非染色可視化システムの開発	東京理科大学	助教	高松利寛			
15:00~16:00	橋渡し研究プログラム(研究費事業)のご紹介	AMEDシーズ開発・研究基盤事業部 拠点研究事業課	主幹	塩塚政孝		
10/13(金)	官民による若手発掘支援事業「若手研究者による革新的医療機器開発 ピッチイベント」					
	11:00~12:00	褥瘡の再発を防ぐナノ型乳酸菌を含有した創傷被覆材の創出	東北大学	教授	菅野恵美	
		生体内組織形成術による成長する小児用人工弁の研究開発	旭川医科大学	助教	佐藤康史	
		屈折異常と眼位の影響を受けずに局所網膜機能を評価するAIセンシングを活用した網膜走査型多局所網膜電図装置の創出	帝京大学	講師	広田雅和	
		ひずみ応答性抵抗膜技術によるデータグローブを活用した発達障害児に対するデジタル治療機器の開発研究	京都大学	助教	入江啓輔	
	13:00~14:00	官民による若手発掘支援事業「若手研究者による革新的医療機器開発 ピッチイベント」				
	13:00~14:00	集束ジェットによる革新的な無針注射技術基盤の創出と展開	東京農工大学	教授	田川義之	
		機械学習による拡散MRI乳がん診断支援システムの開発	京都大学	助教	飯間麻美	
		12誘導心電図からの心内心電図情報予測に基づく不整脈疾患精密診断プログラムの開発研究	京都大学	特定助教	梶谷泰彦	
		高い送達効率・汎用性・安全性を兼ね備えた薬剤搭載型バルーンカテーテルの開発	東京農工大学	准教授	赤木友紀	
14:00~15:00	橋渡し研究プログラム(研究費事業)のご紹介	AMEDシーズ開発・研究基盤事業部 拠点研究事業課	主幹	塩塚政孝		

AMED

関連ブース  
出展紹介



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構  
Japan Agency for Medical Research and Development

ぜひ、お立ち寄りください!



医療分野の研究開発およびその環境整備の中核的な役割を担うAMEDは、基礎から実用化までさまざまな事業を行っています。そこで本会場内にもAMED関連ブースや出展が多数ありますので、ぜひお立ち寄りください!

## BioJapan

①AMEDブース〈小間番号：C-15〉 2～3ページ目の詳細をご覧ください。

②HFSPブース〈小間番号：D-51〉

- 展示：「ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (HFSP)」紹介
- セミナー：10/12(木) 15:00～17:00 アネックスホールF203  
「ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム 研究成果報告会  
-革新的な基礎研究から創成されるイノベーションのシーズン-」

## healthTECH JAPAN

③東京大学バイオデザイン ブース〈小間番号：H-2〉

- 展示：AMED「官民による若手研究者発掘支援事業」「若手研究者によるスタートアップ課題解決支援事業」紹介
- ピッチイベント：AMEDブース内で実施

## JHVS (ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット)

④AMED創薬ベンチャーエコシステム強化事業ブース〈小間番号：V-49〉

- 展示：AMED「創薬ベンチャーエコシステム強化事業」紹介
- ピッチイベント：10/11(水) 13:00～14:55 JHVSステージ「AMEDシーズアクセラレーションピッチ」

⑤日本再生医療学会 ブース〈小間番号：V-50〉

- 展示：AMED「再生医療実用化基盤整備促進事業」で実施する再生医療ナショナルコンソーシアム事業について(特に臨床研究支援と産学連携支援について) 紹介

⑥臨床研究中核病院 ブース〈小間番号：V-97〉

- 展示：AMED「医療系ベンチャー育成支援プログラム(医療技術実用化総合促進事業)」紹介
- ピッチイベント：10/12(木) 11:00～11:30 JHVSステージ  
JHVS SHOWCASE(臨床研究中核病院の登壇予定スケジュール)
- プレゼンテーション：10/12(木) 12:00～13:00 JHVSステージ



# JAPAN HEALTHCARE VENTURE SUMMIT

## AMEDアクセラレーションピッチ

AMEDとMEDISOが推薦するシーズをピッチ形式で紹介します。  
各事業担当者が、シーズに対する応援演説をします。  
モデレータやAMED認定VCが実用化・事業推進に向けたアドバイス・コメントをします。

開催日時

令和5年10月11日(水) 13:00～

開催場所

パシフィコ横浜 JHVSメインステージ

時間	内容	登壇・発表
13:00-13:10	開会の挨拶	AMED 三浦理事 経済産業省 下田生物化学産業課長
13:10-13:45	シーズピッチ【グループA】 +質疑・フィードバック	プレゼンター: 紹介欄参照  モデレータ:
13:45-14:15	シーズピッチ【グループB】 +質疑・フィードバック	LINK-J 高橋様 Remiges Ventures 稲葉様 AMED 内田参事役
14:15-14:45	シーズピッチ【グループC】 +質疑・フィードバック	コメンテータ: AMED認定ベンチャーキャピタル
14:45-14:50	講評	AMED 三浦理事

# ピッチ登壇者紹介

## グループA



### 熊本大学 / 株式会社StapleBio

#### 日本発技術であるStaple核酸を利用した遺伝子発現制御法について

我々はStaple核酸と名付けた短鎖核酸を利用して、標的mRNAにRNA G-quadruplex形成を誘導する技術開発に取り組んでいます。今回は本技術を使った遺伝子発現量の増減技術について紹介します。



### 藤田医科大学 / 株式会社FerroptoCure

#### 新規標的分子を用いたフェロトシス誘導性抗がん剤の開発

フェロトシスとは、酸化ストレスによる細胞死であり、近年新規がん治療標的として注目されており、私達は、独自の新規標的を用いた上記メカニズムの抗がん剤開発に成功し、現在治験を予定しております。



### Chordia Therapeutics株式会社

#### RNA制御ストレスを標的とした抗がん薬の開発

新たに発見されたがんの特徴の一つであるRNA制御ストレスを標的とすることで抗がん薬を開発しました。リードアセットCTX-712は、国内第1相試験でAMLでの完全寛解および卵巣がんでの部分奏効を複数例確認済みです。

## グループB



### セレイドセラピューティクス株式会社

#### 「細胞で未来を変える」ヒト造血幹細胞の体外増幅技術を用いた細胞治療製品の開発

東京大学医科学研究所の山崎聡教授と中内啓光名誉教授は、ヒト造血幹細胞を体外で増やす技術を初めて確立しました。当社では難治性血液疾患を対象として新しい造血幹細胞移植製品の開発を目指しています。



### 株式会社リエイル

#### 採血のみで実施できる低侵襲・高効果な血管・組織再生治療の開発

採血という低侵襲で得た少量の自己血液から、血管と組織への高い再生能を有する細胞を若返らせ、増幅する培養技術を世界で初めて開発しました。(Repri 細胞(開発コードRE01))



### PuREC株式会社

#### 細胞移植治療の未来を切り開く高純度間葉系幹細胞REC(Rapidly Expanding Cells)

PuRECの中核技術はsingle cell sorting & seedingを用いた高純度間葉系幹細胞の単離技術です。遺伝子治療や核酸医薬等、他の治療モダリティには無い、間葉系幹細胞だけが持つ生着と分化という特徴を生かした移植治療の実現を目指しています。

## グループC



### 株式会社凜研究所

#### TMEM180を高発現する大腸がんにも有効な新規ヒト化抗TMEM180抗体の開発

大腸がん等に発現するTMEM180に対する新規抗体は本年1月P1試験に入り、安全性に問題なく、遅滞なく進捗しています。がん間質標的の抗不溶性fibrin-ADCは既存DDSの欠点を補う新規の固形がん攻略手段！



### 株式会社メトセラ

#### 心臓内幹細胞を用いた小児先天性心疾患患者に対する治療法の開発

JRM-001は、機能的単心室症患者の新たな治療選択肢となる可能性を持つ自家細胞製品です。早期実用化により小児心臓移植の代替治療とすることを目指し、P1及びP2の臨床研究成果を基に検証的試験を進めています。



### C4U株式会社

#### 新規ゲノム編集技術CRISPR-Cas3

当社のシーズであるCRISPR-Cas3は安全性が高いゲノム編集技術であり、独自特許によるFTOも確保されています。本技術により、Cas9とは異なる新しい治療方法を提供いたします。

# ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム 研究成果報告会

-革新的な基礎研究から創成されるイノベーションのシーズ-



ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム (Human Frontier Science Program: HFSP) は、生物の複雑な機能に焦点を当てた革新的、学際的、かつ新奇性を備えた基礎研究を支援する国際的な研究支援プログラムです。

研究支援は、遺伝子や個々の分子から、細胞、組織、器官、個体、個体群、生態系まで、全ての階層の生物学的機能を対象としています。特に、ライフサイエンス分野以外（数学、物理学、化学、情報科学、工学等）の科学者の専門知識を活用した独創的な最先端の協同研究に重点が置かれています。

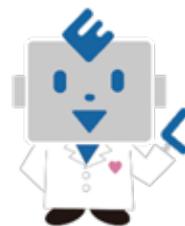
プログラム開始以来、1,200 件以上の研究課題、4,300 名の世界の研究者に対して研究グラントを支援し、3,400 名の若手研究者に対してフェローシップの助成を行ってきました。過去の実績者の中から、28 名もの栄えあるノーベル賞受賞者が輩出されています。

BioJapan2023 では、5 名の研究グラント受賞者がこれまでの研究成果とその応用可能性について講演を行います。またフロアを交えたオープンディスカッションも予定しています。HFSP 発の独創的な技術シーズが社会実装へとつながる道のりに参画しませんか？

皆様のご参加をお待ちしています。



参加登録はこちらから  
お願いします。



令和 5 年

日時

10 / 12 木

15:00 ~ 17:00

場所

アネックスホール F203

言語：日本語 / 英語（同時通訳付）

## 開会挨拶



井上 宏一

経済産業省 産業技術環境局 総務課 国際室長

## 招待講演



The “Age of Biology” : Life Science Frontiers in 21st Century  
Fueling Rapid Innovations

パヴェル・カバト

国際 HFSP 機構 事務局長

## 成果発表



液液相分離を介した CaMKII のシナプス可塑性メカニズム

**林 康紀**

京都大学 大学院医学研究科 教授



昆虫知能を活用した超高感度匂いセンサと匂い源探索ロボットの開発

**神崎 亮平**

東京大学 名誉教授 / 先端科学技術研究センター シニアリサーチフェロー



無細胞タンパク質合成でのリボゾーム生合成

**清水 義宏**

理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー



HFSP から広がるオートファジー研究

**小松雅明**

順天堂大学 大学院医学研究科 教授



国際共同研究の魅力 - 先端的異分野研究の融合で挑む  
ナノ生命科学のフロンティア

**難波 啓一**

大阪大学 名誉教授 / 大学院生命機能研究科 特任教授

## オープンディスカッション（質疑応答及び意見交換）



モデレーター

**井上 宏一**

経済産業省 産業技術環境局 総務課 国際室長



共同モデレーター

**野田 正彦**

日本医療研究開発機構 国際戦略推進部 参事役

## 閉会挨拶



**三島 良直**

国際 HFSP 機構 理事 / 日本医療研究開発機構 理事長